

(特非) ニッポンバラタナゴ高安研究会

高安の里におけるニッポンバラタナゴを保護するための地域循環共生圏づくり

活動地域  大阪府



ニッポンバラタナゴ一時避難のための地引網

課題

地元住民や行政及び都市部のものづくりの得意な企業や住民と連携し、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性が保全される高安地域循環共生圏を構築する。

目標

高安地域の自然再生活動によって、持続可能な生態系サービスを維持しながら、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性を保全するための地域循環共生圏を構築する。

活動内容と成果

高安地域の自然再生活動である、ニッポンバラタナゴ(キンタイ)の保護池調査やドビ流し(池干し)、里山の森林整備、及び里地の有機栽培を実施することで、ニッポンバラタナゴを含む生物多様性を保全するための地域循環共生圏の構築を目指した。その成果は、森林資源のバイオマスエネルギーとして利用や有機野菜やブランド米(きんたい米)、河内木綿の商品化など、自立分散型の持続可能な生態系サービスの利用方法を開発し確立すると同時に、ニッポンバラタナゴやドブガイの個体数も約10万尾と約5千個体を維持することができた。



高安山の森林整備と資源利用

ひろげる助成

2年目

実践

ニッポンバラタナゴの個体数 **10万尾**

きんたい米の生産量 **300kg**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **70%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

保護池における外来種アゾラを除去することとニッポンバラタナゴの産卵母貝である淡水二枚貝(ドブガイ)の繁殖を促進すること。

■工夫した点

タナゴファームのパーマカルチャーを導入したゼロカーボンステーションづくりを実施した。



今後の
展望

高安中学校区まちづくり協議会と協働し、『八尾廃校SATODUKURI BASE』を拠点として、タナゴファームのゼロカーボンステーション及び高安山の森林資源を利用した自然体験の場づくりを開催する。

〒581-0872

大阪府八尾市郡川5-131

電話：090-6607-6336

E-mail：n_baratanago@yahoo.co.jp

HP：http://n-baratanago.com

